

magis

St. Ignatius Church



『マジス』はラテン語で、イエズス会のモットー「神のより大いなる栄光のために」を表しています。

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』(教皇フランシスコ)―「ミッション2030」―福音を伝える

「信仰案内講座の今と今後」

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」マルコ 16 : 15

このイエスの呼びかけに応えて、司祭、修道者、信徒による「信仰案内講座」がイグナチオ教会においても数多くもうけられています。

わたしは大地に飢えを送る。

それはパンに飢えることでもなく

水に渇くことでもなく

主の言葉を聞くことのできぬ飢えと渇きだ。

アモス 8 : 11 b

日本は経済的にゆたかになりましたが、この聖書のことばのように神のことばを聞くことができない飢えが広がっています。私は自分の乏しさを感じながらもここ 14 年間、毎木曜の講座に熱意を注ぎました。14～15 人程度の小グループですが「信仰案内講座」を担当していて、勇気を持って講座にやってきた人たちがイエスと出会いその顔がだんだん輝いてくるのを見ることは大きな喜びです。イエス様が働いておられると感じます。また面接で分かったことは多くの方々がカトリック幼稚園、小・中・高・大学、日曜学校に通っていたことなどを聞き、驚いています。私は以前、関西のカトリック中・高等学校で長年宗教科の授業を担当していました。思春期の若者たちにどのようにイエスの福音を伝えたらよいか四苦八苦したものでした。今、感じていることは日本の地に種まきはよくなされています。ただ水をやり、肥料をやる人が不足しています。そしてフランシスコ教皇様が言われるように「貧しい人を迎

え入れる」ことがまだできていないということです。

私は修道会内で養成の担当をしているのでしばしばベトナムに行くことがあり、毎週の講座がぬけることがあります。随分前からわたしは信徒にヘルパーをお願いしています。約 1ヶ月前から板書の箇所を渡し、三木図書館等で注解書を読み、よく調べ、祈るようにと勧めています。帰国後講座を受けている人々の反応を聞くと、よく質問ができたということでした。そして、教える人も、学ぶ人たちも満足顔です。

信徒の方々が講座を担当すれば信仰がもっと生活に密着し、教会もさらに生き生きするのではないかと思います。日本の歴史をひもどけば教会がなく、司祭もない約 230 年間のキリシタン迫害のさなか、信徒の方々が命をかけ、信仰を守り続けました。生活の中で伝えられた信仰は子々孫々伝えられていきます。そして地域との関わりが深いので、地域の福音化にも繋がります。

このように考えているときに東京教区主催の「入門講座担当者養成講座」が開始されました。参加者には 25 回の学びの場がニコラ・バレで与えられる。「信徒のやる気」をそがないよう、融通性をもった「入門講座担当者養成講座」となるよう、そして、なによりも聖霊の導きのうちに、司祭、修道者、信徒が力を合わせ、共に「福音を伝える」ことができますよう、心から願っています。

聖母奉献修道会 シスター鷲尾和子

私たち聖イグナチオ教会は、祈りにもとづく使徒的共同体を生きていきます。

現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、環境破壊など、未来に希望を見だしにくい反福音的なものに脅かされています。それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、いつくしみの扉を開いていきます。

私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、貧しい人や弱い人の声を聴き、皆でともに手をたずさえて（日本人も外国人も、若いも若きも）、福音の喜びを分かち合っていく使命を生きていきます。

10月の共同祈願

ロザリオの月にあたり、マリア様と心を合わせて祈ります。
世界には貧しくて、学校に行けず、食べ物も十分に取ることができない子どもたちがたくさんいます。
彼らのために祈ります。
主よ、彼らが、十分な教育と食事を受けることができますように。そして、私たちが、彼らに喜びと希望をもたらすことができますように。

(解説)

「聖フランシスコの平和の祈り」の最後にこうあります。
「私たちは与えるから受け
ゆるすからゆるされ
自分を捨てて死に
永遠の命にあずかるのですから」
私たちがこうありたいと願い、この祈りを捧げます。

「ミッション 2030」 - 福音を伝える④

みんなで福音を伝えようとする意識を

今年のイグナチオ教会の年間テーマは「福音を伝える」です。福音宣教は復活したイエスが弟子たちに命じたときから、今も続けられている教会の本質的使命の1つです。

幸いなことにイグナチオ教会には、さまざまな入門講座があり、それによって今まで多くの人がこの教会で洗礼にあずかりました。これだけ多くの講座がある教会は、日本の中でここだけでしょう。交通の便がよいこともあり、とてもありがたいことです。しかも、今までたくさんの司祭がおられました。教会で働く司祭だけでなく、上智大学で教えておられる司祭もこの教会で講座をもっておられ、人気のある名物講座はいくつもありました。今から思うに、イグナチオ教会は司祭に恵まれすぎているとも言えるかもしれません。ところが、ご存じのとおり、今は司祭の高齢化が激しく、今までの講座の数を維持するのは難しくなってきました。多くの求道者がこの教会を訪れるのに、それに見合う受け皿を作らないことは怠慢になってしまうでしょう。

これからのことを考えていくと、カリスマ的司祭に頼るのではなく、多くの信徒と少ない司祭・修道者で小さな力を合わせながら、皆で協力しながら福音を伝える時代になったと言えるのではないのでしょうか。その1つの試みとして、信徒の方が入門講座

を担当してもらう形を模索していきたいと考えています。すでに横浜教区などでは20年以上前から信徒が入門講座を行うことが行われていて、今では当たり前になっています。イグナチオ教会は司祭に恵まれすぎていて、福音宣教の意識は信徒の中で低いと思います。

このようなことを話しあっていると、ちょうど東京教区も同じ問題意識をもち、教区主催の入門講座担当者養成講座をこの9月から始めました。この教会でも公募を行い、結局当教会から4名の方が受講することになりました。教区全体で29名の方が参加されており、講座修了後、教区で指定された教会で入門講座を担当する予定になっています。この4名の方がすぐにこの教会で入門講座を担当するわけではないですが、1つの出発になると考えています。講座をすでに担当している信徒の方々がこの教会でもおられます。

信徒の皆さんも福音を伝えることを自分の1つの使命として意識してくださり、私たちが協力して何ができるかを模索していきたいと思っています。よろしくお祈りします。

主任司祭
英 隆一朗 sj



【ワールドユースデー 2019 パナマ大会】

2019年1月17～28日に中米パナマで開催される【ワールドユースデー 2019 パナマ大会】に、当教会より5名の若手信徒を派遣いたします。本年6月に募集し、課題作文と面接による厳正な選考により選ばれました。ここに抱負をまとめた文章とともにご紹介いたします。当教会の未来を担う彼らのためにどうぞお祈りください。

【派遣の抱負】

今回の WYD では自分の世界を広げる機会にしたいと思っています。イグナチオという1つの教会で留まっていた自分にとって世界中の人々の信仰心に触れることは、自分の視野を広げるいい機会になると思っています。世界で紛争が繰り返される中、和解という道を祈りこの WYD に挑もうと思います。

今田 大河
(中学生会リーダー)

私は、2019WYD のテーマ (ルカ 1:38) に深く共感し参加を決めました。WYD での活動に献身的に取り組むことで更に信仰を深めるとともに、日本代表として、前向きで道徳的で主への愛に溢れていることを示し、日本の若者と世界の若者とをつなぐ友好の懸け橋として尽力する所存です。彼らと共にローマ教皇の祝福を受ける機会に恵まれるのは大変な荣誉です。パナマより戻る際には、WYD での経験を分かち合い、愛と信仰に従って生き続けることを誓います。

オゾー・ダーリントン・オピナ
(インターナショナル青年会)

今回私が WYD に参加し得たいと思っていることは他国の若者たちの信仰に関する思いや表し方、そして考えを知りたいと考えている。これまで、私は

この教会で教会学校に通い様々な世代の人々と信仰を通して関わることができ様々な人に出会うことができた。この輪をさらに広げていき、より多くの人々と信仰を分かち合いそれをまたこの教会で分かち合いたいと思う。

島田 直
(青年会、日曜学校リーダー OG)

この度は WYD に派遣してくださり、ありがとうございます。今回の WYD に参加できることは私にとって本当に大きなお恵です。イグナチオ教会の皆様から感謝しております。世界中の青年と信仰を分かち合うことは、自分自身の信仰の歩みを支えるかけがえない体験になることと期待しております。感謝のうちにワールドユースデーに行き参ります。

下川 麗愛

私は洗礼を受けたばかりですが様々な国の青年と交流しながら自分の中にあるキリスト教信仰を、より深いものとするような WYD にしたいと思っています。

さらに将来、宗教科の教員になりたいと考えているのでその為にも積極的に色々なことにチャレンジし、自分にとって有意義な WYD にしたいです。

高橋 美保

【献金報告と御礼】

彼らの渡航費用のための献金活動を7月28日から8月5日まで行い、信徒のみなさまより1,566,156円の献金を頂きました。この中には100万円の一括献金も賜りました。みなさまのご支援に厚く御礼申し上げます。

【ワールドユースデー 2019 パナマ大会】 派遣準備委員会

結婚感謝ミサ

10月7日(日) 10時ミサにて

「神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。」
マタイ 19:6

神の秘跡に与った時を思い出し、これまで共に歩んできたこと、これから共に歩むことを、みなさんで感謝し祈りましょう。

金婚式、銀婚式を迎えられた御夫婦へのバチカンからの祝福記念証書授与もこのミサの中でいたします。

幼児洗礼式

10月14日(日) 10時ミサにて

「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。」
マルコ 10:13～16

今回は17名の子供たちが神様に祝福される予定です。子供たちが神の子として大きく成長できるように、みなさんで一緒に祈り、お祝いしましょう。

“クリスマスバザー 12月2日(日)”

8時30分のミサ終了後～15時30分頃まで

クリスマスバザーの目的は、さまざまな困難な状況にある人々を支援する活動団体に対する献金です。困難に立ち向かっている人々のために祈りながら、いろいろな形でクリスマスバザーに奉仕いたしましょう。

★頒布品としての献品受付:10月21日(日)～11月18日(日)

中古衣料と賞味期限切れの食品は不可。詳細はポスター、チラシにてご確認ください。

クリスマスバザー実行委員会

教会学校BBQパーティー



今年も各教会学校は夏のキャンプを楽しく過ごしました。

8月26日(日)感謝ミサのあと、ご父兄とリーダーOBOGが準備したバーベキューパーティーを教会学校全体で開催し、夏休み最後の思い出作りをしました。

また、土曜・日曜学校のお世話を長くなさっていたシスター林がこの夏でお辞めになることになりました。

いつも子供たち、リーダーたちを心暖かく見守っていただき、ありがとうございました。

教会報(マジス)編集スタッフ募集

2017年9月より教会報(マジス)のリニューアルについて、皆さまへのアンケートも行いながら検討を重ねて来ましたが、この度リニューアル案の具体化とリニューアル後の編集発行にご奉仕していただける方を募集することになりました。

当教会所属の方で、編集等の経験がある方、編集に興味のある方、このような作業の奉仕をしてみたい方を自薦他薦にて募集し、その後主任司祭から若干名の方に依頼いたします。

募集締切は10月31日(水)。詳細はポスター、チラシをご覧ください。

黙想会のお知らせ

教会黙想会

11月23日(金) 勤労感謝の日

主聖堂 10時～16時

テーマ:福音を伝える

補聴器用設備のご案内

主聖堂祭壇に向かって左から右へA～Fゾーンすべての前列とC・Dゾーン全体の床下に補聴器のためのループアンテナが設置されています。

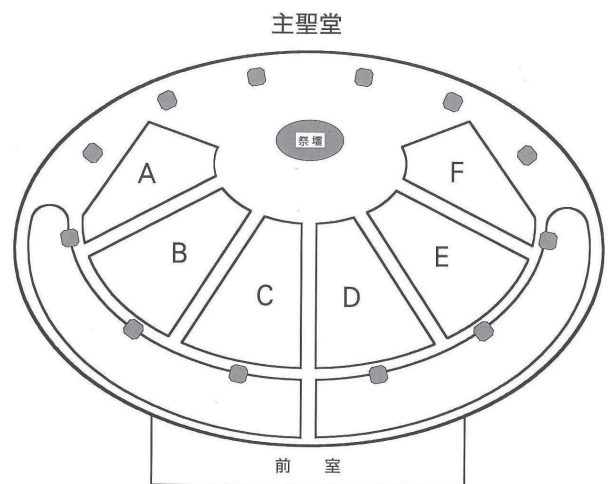
「誘導コイル型補聴器」ならば、イヤホンで聴くラジオの音のようにマイクからの音を直接聴くことができます。

教会事務室に貸出し用の補聴器が数台ありますのでご利用ください。

ポケット型、耳掛け型共に「誘導コイル型補聴器」は多機種あります。

ご自身でお使いの補聴器が「誘導コイル型」かどうかを購入店またはメーカーにお問い合わせいただき、設備をご活用ください。

教会事務室



ミサの時間 Mass

[平日 Weekday] 主聖堂 Main Chapel

7:00/12:00/18:00

[日曜日 Sunday] 主聖堂 Main Chapel

土曜 18:00/7:00/8:30/10:00/18:00
12:00 (English) /13:30 (Español)

[月の第1日曜日 1st Sunday]

Main Chapel 15:00 (Việt Nam)
Our Lady's Chapel 12:30 (Português) 16:00 (Polski)
Xavier Chapel 16:00 (Indonesian)

[月の第3日曜日 3rd Sunday]

Main Chapel 15:00 (Việt Nam)
Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

主任司祭: 英 隆一朗

助任司祭: 李 相源

田丸 篤

協力司祭: ヘネロソ・フローレス

ハビエル・ガラルダ

平林 冬樹

酒井 陽介

ブラザー: 吉羽 弘明

シスター: イベッテ・サンチェス
(セントロ・ロヨラ)

ローズ・レミジオ

(ジョン・デ・ブリッド イングリッシュセンター)

カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083 千代田区麴町6-5-1

TEL 03-3263-4584 FAX 03-3263-4585

ホームページアドレス: <http://www.ignatius.gr.jp>